



さび 強度に影響ない？ 業者不誠実を強く指摘！

無所属クラブ 「市長説明」に「市長の姿勢」を質す

11月20日、無所属クラブと細江市長との11月議会前の懇談会が開かれました。この席で、市長から「16日に開催メディアコスモスの雨漏りに関しての設計会社と施工業者のマスコミ向けの説明会」での様子が披露されました。

「瑕疵担保期間過ぎても、直すと言っているから・・・」

細江市長は、4年間の瑕疵担保期間を過ぎても、業者は「直すと言っているから・・・」と、あたかも「安心して下さい」と言わんばかりの説明を無所属クラブ議員団にされた。聞いていた議員団は憤慨し、今日までの文教委員会での無責任業者発言をはじめ、市の対応の生ぬるさを強く指摘する事になった。

「雨漏りだと言うなら場所を示せ、示されれば修理する」設計会社発言

これは、文教委員会での伊藤設計の発言要旨。「結露」だ(伊藤設計)と言い張り、「本当に断定できるのか」との松原のりかず質問への委員会出席の伊藤設計の発言を紹介。その後、逃れられない「雨漏り」発生したが、議会には何の謝罪もないまま時間が経過している。瑕疵担保期間4年以降の「口約束」は東部クリーンの例を総括すべきだ。

「そんな事を、言ったのか？」細江市長・・・??議事録を視ろ！

細江市長の発言にも驚かされた。「伊藤設計発言」については今日まで何回も触れて、本会議質問をしているが、松原のりかズの「聞きづらい質問は聞いていないのか？」と思えた。田中議員からは「文教委員会の議事録を読みなさい」と強く指摘。「今日までの努力が徒労に終わっている」のを感じる瞬間だった。こうして16年が終わる。

完成検査前から雨漏りがしている建築物で、「伊藤設計発言」に代表される「不誠実」の業者が、足掛け3年も雨漏りを直せないでいる。その業者が、4年の瑕疵担保期間を過ぎても「責任を持って修理」するとは思えない。と指摘しました。業者がもし「5年目を待っている」とすると、其れを許す「岐阜市の生ぬるさ」は重大だ。60億円の建築物の、最終払い分24億円を払う命令を「完成した」として出したのは細江市長だ。

連絡先 市議会議員 松原のりかず 岐阜市沖ノ橋町1-21 でんわ 253-2500

屋根は10年だから・・・??? **細江市長**

これは、細江市長の発言。「屋根の瑕疵担保期間は10年」と弁明されたが、議員団から指摘をしました。ちがう、「雨漏りが10年」です。雨漏りと「特定できない」と逃げられたら「瑕疵担保の責任は回避されます」と。裁判したら、負けますよ。「完成」と印鑑を押した人が、3年目にして、このような発言をされている事に驚く。

市の鉄橋や歩道橋はなぜペンキを塗り直すのか？

基盤整備部によれば、岐阜市の橋や歩道橋は12年サイクルでペンキを塗り直している。「本当は10年で塗り直したいのですが」との事。当然ながら、橋の強度、安全に影響すると思われるからです。メディコスは3年も経過しないのに屋内の鉄骨が錆びコッコですが「強度に影響が無い」のでこのまま「経過観察」(放置?)すると業者説明。「はい、そうですか」で良いのでしょうか。「天井をはがして、塗り直すべき」と議員団は指摘。「錆に影響ない」のなら、橋も歩道橋もペンキ塗らなくてよいのでは？

そもそも 仮設送風機増設・仮設から常設化 **設計ミス!**

何か、弱みでも握られているのだろうか？ 業者の「結露論」に3年間も付き合っているのは。資材を雨に濡らした管理責任、濡れた資材で建築した無責任、湿度を計算できなかった技術力欠如、仮設を常設にして「設計ミスではない」と強弁する無責任。

21日 市長定例記者会見で 「さび落とし再塗装」発言

20日の無所属クラブ懇談の経過が、定例記者会見での発言に変化をもたらした？ 瑕疵担保期間に関する考え方、鉄骨の再塗装など、20日の市長と21日の市長が同じ人物とは思えない。報道の「納得いかない」と不快感を表明は、良いが、出来うれば「自分が前から考えていた」かのような「誤解」を招く発言は如何なものか？
また、「瑕疵担保期間後の不具合」ではなく、「期間の延長」が確認されるべき事です。
16日業者記者説明会の議員傍聴が許可されなかった事へは抗議を表明した。



松原のりかず
☎058-253-2500